

講義名	ビジネス法務			授業形態	
担当教員	中下 和人	開講期・曜日・時間	後期 火曜日 5 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

ビジネス法務の基本となる法律は、民法、商法および会社法といえます。講義では、それらの法律の主要な規律内容について、具体的な事例に基づいて解説します。

到達目標

具体的な事例の検討を通じて、現実に企業が直面している法的諸問題について理解を深めることを講義の目的とします。法的思考に基づいて、問題を解決する能力を確立することが到達目標となります。

提出課題

数回程度求めます。内容は授業中に説明します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題について授業の中で行います。

評価の基準

到達目標に記載する能力（知識、法的思考力および判断力等）に対する到達度を判定して評価します。定期試験（60%）と提出課題（40%）を基準として、総合的に評価します。

履修にあたっての注意・助言他

履修に当たっては、民法、商法および会社法関係の科目を受講済みか、同時に受講していることが望ましい。

教科書

.ビジネス法入門（第3版）.	中村信男 = 和田宗久 = 新井剛	中央経済社	2600	9784502346514
----------------	-------------------	-------	------	---------------

参考図書

.なし.

その他

六法全書（小型のものでよい）を持参すること。必要に応じて、資料を配布します。

授業計画

1. イントロダクション
2. 企業取引と法律
3. 契約の意義、契約の締結と方法、契約の効力
4. 契約自由の原則とその例外、未成年者等の契約
5. 意思の不存在と瑕疵ある意思表示
6. 不動産および動産の取引
7. 商取引の概要と特色
8. 会社の種類とその特徴
9. 株式会社の経営機構と監視・監督制度
10. 上場会社とコーポレート・ガバナンス
11. 役員等の義務
12. 役員等の民事責任と株主代表訴訟
13. 企業のファイナンス
14. U&Aおよび組織再編
15. 支払決済手段

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習
 条文を参照しながら教科書の精読（30時間）
 復習
 学習内容の整理（30時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

現実に企業が直面している法的諸問題に対し、論理的思考に基づいて、それを解決するための道筋を示すことができるようになります。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

毎回出席してください。実力をつけることができると思います。